

平成22年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471902690	事業の開始年月日	平成17年6月1日
		指定年月日	平成17年6月1日
法人名	株式会社ヴィクトリー		
事業所名	グループホーム アイ・ウィッシュ		
所在地	( 238-0024 )		
	神奈川県横須賀市大矢部3-1-3		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	↳ 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
自己評価作成日	平成23年1月22日	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
	評価結果 市町村受理日	(市町村受理後に記入)	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	(評価機関で記入します。)
----------	---------------

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"><li>・第一に利用者様の事を考え、利用者様が何をしてほしいかを把握し、自己決定を促していけるように業務に努めている。</li><li>・自分の入りたいホームになるような環境作りに努めている。</li></ul>
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成23年2月7日	評価機関 評価決定日	平成23年4月25日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p><b>【事業所の概要】</b> この事業所は、京浜急行北久里浜駅からバスで10分ほどのコンビニエンスストアや量販店、ファミリーレストランが建ち並ぶにぎやかな大通りに面した場所に立地している。建物は鉄筋3階建てで、その2、3階を使用している。同じ建物には同一法人が運営する接骨院があり、マッサージやリハビリテーションを受けることができる。また、デイサービスセンターや皮膚科、薬局もある。</p> <p><b>【利用者や家族への姿勢】</b> 「自分が入りたいと思うホームにしよう!」「健康で生き生きと充実した、その人らしい生活の維持」という理念を掲げ、職員は常に笑顔で細やかに気遣って利用者へ接し、個々の生活のリズムを尊重しながら、自宅にいるような雰囲気を保ちながら自立した暮らしができるように支援している。 共用空間には、利用者の作品や職員と共同で作成した季節の飾り物が数多く掲げられている。さらに、入り口の近くには職員の写真と氏名が見やすく掲載され、家族等が来訪してもすぐ分かるように配慮されている。</p> <p><b>【地域とのつながり】</b> 地域の夏祭りへの参加と共に、ホームが主催の納涼祭等に、家族や地域の方々を招待し多数の参加があり、交流と親睦が盛んである。また、利用者の家族が自発的に毎日のようにボランティアとして来訪し、施設内の清掃や、サービスの手伝いなどのサポートをしている。調査時にはギター演奏のボランティアが2階に来訪しており、その際は3階の利用者も参加して、2フロアの職員と利用者が分け隔てなく一体となって歌ったりリズムを取ったりして心から楽しんでいる様子が観察された。</p>
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム アイ・ウィッシュ
ユニット名	グループホーム アイ・ウィッシュ2階

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者の</li> <li>2. 利用者の2/3くらいの</li> <li>3. 利用者の1/3くらいの</li> <li>4. ほとんど掴んでいない</li> </ul>
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者の</li> <li>2. 利用者の2/3くらいの</li> <li>3. たまにある</li> <li>4. ほとんどない</li> </ul>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ul>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ul>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ul>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ul>
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ul>

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての家族と</li> <li>2. 家族の2/3くらいと</li> <li>3. 家族の1/3くらいと</li> <li>4. ほとんどできていない</li> </ul>
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ毎日のように</li> <li>2. 数日に1回程度ある</li> <li>3. たまに</li> <li>4. ほとんどない</li> </ul>
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 大いに増えている</li> <li>2. 少しずつ増えている</li> <li>3. あまり増えていない</li> <li>4. 全くいない</li> </ul>
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての職員が</li> <li>2. 職員の2/3くらいが</li> <li>3. 職員の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ul>
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ul>
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての家族等が</li> <li>2. 家族等の2/3くらいが</li> <li>3. 家族等の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ul>

事業所名	グループホーム アイ・ウィッシュ
ユニット名	グループホーム アイ・ウィッシュ3階

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスとして、独自の理念を掲げ、実践につなげている。	ホームの事業目標を理念として玄関に掲示し、新人研修や全体会議等で話し合って共有し、個々の生活のペースを尊重し、利用者本位の生活を送ることができるように支援している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月に一度、地域のボランティアさんが来所され、踊り等を一緒にやっている。	加入している町内会の祭りに参加したり、事業所が主催する納涼祭に地域の方を招待している。楽器演奏ボランティアや清掃を手伝う家族ボランティアが来訪している。また、近隣の中学校の職業体験実習を受け入れている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	3カ月に一回の地域会議や、行事等に参加していただくことで認知症の方の理解を深めている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で話し合い、決定した事項は、事業所内の定例会議にて全職員に報告し、サービス向上に努めている。	運営推進会議は年4回開催している。メンバーは利用者・家族代表・職員・民生委員・横須賀市長寿社会課職員などである。ホームの運営状況や行事などを報告した後、参加者との情報交換や話し合いをし、得た情報をホームの行事計画などを通じて運営に役立てている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	問題点があるときは、連絡を取り、相談等を行っている。	横須賀市のグループホーム連絡協議会に加入して市との連携をはかっている。また、運営推進会議を通じて市職員に対して利用者のくらしぶりや公共施設利用の際の問題点などの情報を提供し対応の改善に役立てている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	各職員への認識確認を徹底し、拘束のないケアに従事している。	施設は「身体拘束はしない方針」で契約時に家族に説明している。職員研修では、拘束に当たる行為についての確認をしている。玄関の施錠は、家族に説明し了解のうえで行っている。	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	定例会議等にて毎回伝え、職員には、虐待の防止を徹底させている。		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	ご家族のいない方たちに対して、成年後見人制度等の紹介や説明を行い、活用できるように支援している。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	重要事項説明書を基に、ご家族に説明をし、質問等を受け付け納得するよう、説明し、契約していただいている。		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	苦情受付担当と苦情解決責任者を設けて、ただちに改善できるよう努めている。また、苦情相談に関する掲示も施設玄関にしており、第三者へも相談できる趣旨を記載している。	運営推進会議において利用者、家族の意向や希望等を聞いている。家族会はないが、ホームの行事にほとんどの家族が参加しており、その際には要望や意見を聞き取っている。把握した事柄について全体会議等で話し合い運営に役立てている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度の事業所会議並びに、三ヶ月に一度の定例会議の場を意見交換の場とし、話し合いを検討している。	毎月のカンファレンスや3か月に1回の全体会議で職員の意見や提案を聞いている。また、利用者の受け入れ、職員の交代は全体会議で話をしている。年に1回社長による個人面接があり、意見を述べる機会になっている。職員の提案は検討のうえ運営に取り入れている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定例会議等にて、代表者に職場環境の問題点を伝える意見の場を設けたり、年に一度の人事考課にて、条件の整備に努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加し、会議、報告書等にて伝えている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	運営推進会議にて、地域のグループホームの方に当ホームの話や相談を行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	何をしたいのか、明確に把握し、その都度対応しながら、本人の安心に繋がるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時に家族の要望を聞いて、それに近づけるように目標を立て、良い関係が築けるように努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何を必要としているのか見極め、時間をかけてサービス利用の向上に努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その都度、本人の状態に応じて、信頼関係を築けるように努めている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との時間を大切にいただき、共に支えていけるよう関係を築いていっている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の過去を大切にし、その記憶が途切れないように支援に努めている。	生活歴や以前の交友関係を聞き取って把握して、入居前の行きつけの美容院などに出かける支援をしたり、昔の知り合いや友人への手紙や電話の支援を行って、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションやアクティビティ等にて積極的に関わりが持てるように努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	その都度、相談や支援に努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的な、カンファレンスにより、ご利用者様の意向を取り入れたケアにつながるよう、努めている。	日々の生活の支援の中で、利用者の表情や言葉、行動から思いや意向を読み取っている。また、月1回のカンファレンスにおいて利用者の様子や何を求めているかを話し合っって職員間で共有してケアに反映している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様、ご本人の意見を反映し、様々な情報を取り入れ、サービス内容の検討に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々のご利用者様の身体面、精神面の把握を行い、日々変化の下、現状把握ができるよう、職員間においても情報の共有をして、ケアに当たっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>カンファレンスにおいて、様々な意見を取り入れ、ご利用者様の個々の状況に合わせた計画作成が出来るよう努めている。</p>	<p>日頃の観察や話し合いで利用者の意向を把握しており、訪問した家族の意見も聞き取っている。さらに、カンファレンスにおいて日頃の状況や変化について十分に話し合っって見直しを行い、計画担当者がプランを作成している。必要に応じて医師の意見を聞いている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日中の記録に関しては、日中黒、夜間青、医療面赤にて明確にし、職員個々での確認を徹底している。また、日々の申し送りにて情報を各階共有し、実践に向けて、介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>常に、ご利用者様やご家族様の意見を聞き入れ、外出、外泊または、ご家族様の宿泊などに対応できるよう、努めている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣の方々に理美容や民謡、踊り、歌等のボランティアに来ていただいている。また、安心して暮らせるよう警察へは施設周辺の適時見回りもお願いしている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>24時間対応の医療機関との連携を行っている。他のサービスへの支援は必要に応じて検討している。</p>	<p>協力医療機関の内科医が2週間に1回、歯科医が週1回往診しており、週4回の訪問リハビリテーションとマッサージがある。希望があれば家族が付き添って以前のかかりつけ医を受診できる。病院が近い場合は職員が支援している。受診情報は家族から得ている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>同じ建物内の看護師、又は施術師等からアドバイスを頂き、健康管理に活用している。また、24時間対応の医師と連携している。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、病院側とご利用様の情報共有を行っている。退院後、リハビリ等の対応においては、接骨院との協働により、早期回復に努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時において、終末期における当施設の対応について説明している。また、終末期において早い段階から主治医と連携を取り、ご本人、ご家族様等とその都度話し合いの場を持ち、方向性の共有を図っている。</p>	<p>重度化したときの「看取り対応に関わる指針」を定め、家族に説明し同意を得ている。看護師を通じて協力医療機関の内科医の24時間の支援体制があり、これまでに1名の看取りの実績がある。支援にあたった職員の体験を、話し合いや研修を通じて共有をはかる予定である。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急対応マニュアルを用いて対応するよう職員へ徹底している。また、救急法の研修にも参加している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練の実施をしている。</p>	<p>年に2回、昼間の避難訓練をしている。地域住民の参加や夜間想定訓練は行われていない。スプリンクラー及び消防署への自動通報装置は設置済みである。飲料水や非常用乾パンなどを備蓄している。</p>	<p>消防署の立ち会いによる避難訓練や消火器訓練、夜間想定訓練の実施ならびに、地元住民への参加呼びかけを期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者への配慮を心掛けた声掛けを徹底している。	「言葉かけ」の研修によって利用者の誇りやプライバシーを損なわない対応を身につけ、支援の際に実施している。家族の来訪時には、居室に案内し気兼ねなく話し合うように配慮している。個人情報を含む書類は、鍵のかかるキャビネットに保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	飲み物を一つ飲むにしても、声掛けにて、ご本人が自己決定できるよう努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にしてい、希望にそうよう声掛け、行動をしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度の理美容や、希望のある方は、外の美容院に行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食前に料理の小分け、味見、配膳、食後に下膳、テーブル拭き、食器洗い等を行っている。	メニューや食材は専門業者に頼んでいる。時には食材を買っておやつを手作りして提供している。また、調理や配膳・下膳など利用者ができることを手伝ってもらっている。職員は食卓に同席し同じものを食べており、必要に応じて介助している。2か月に1回は好みの出前を取っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取表にて一日の摂取量、栄養バランス、水分量を把握している。また、状態に応じて、栄養補助食品の摂取を促している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後、声掛けにて出来る方は、ご自身にて、介助のいる方は口腔ケアをしている。また、週に一度の歯科往診にて口腔ケアもしている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ご利用者様個々の排泄パターンを把握し、定時誘導、声掛けを行い、失禁軽減に努めている。</p>	<p>昼間はなるべくトイレでの排泄を支援しており、個々の排泄パターンを把握して定時誘導を行っている。その際は、さりげなく誘うなどの配慮をしている。フロアに2か所のトイレがあり、分かりやすい表示がある。車椅子にも対応している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>ご利用者様個々に応じた、排便の有無を確認の上、体操や食事の工夫を行っている。また、下剤使用については、主治医相談の下、正しい使用法にて行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>「最低一日置き」と定め、ご利用者様の希望にて実施している。</p>	<p>入浴は原則として週3回で、時間は利用者の希望により午前・午後どちらでも対応している。入浴しながらの方には、時間を変えたりタイミングを見はからって誘導している。浴室は車椅子対応で、職員2人での介助も可能である。利用者の身体状況によりシャワーや清拭で対応する場合もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>ご利用者様の状況に応じて、適宜休息したり、就寝時間の声掛けをしている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬チェックや個々の服薬情報を職員内で共有し、把握に努めている。随時、身体面、精神面での変化等主治医との相談の上、検討実施している。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ご利用者様の個々の生活歴の中での役割などを見出し、日常生活に活かせるよう行っている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩、外出の機会を作り、希望時に実施している。</p>	<p>天候が良ければ利用者の希望により、すぐ近くの公園などへの散歩や買い物に出かけている。広いベランダや屋上、花壇で外気を浴びたり気分転換をはかっている。季節ごとに花見、花火大会、大根掘りなどを行事として計画し出かけている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的なお金の管理は施設にて行っているが、外出の際、買い物等に関しては、ご自身にて支払い等出来る方は、職員と共に実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望に応じ、電話をご本人から掛ける、または職員にて代行するなどして、支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清潔面を気をつけ、季節感のある装飾などで工夫している。</p>	<p>フロア全体が広く、廊下、居間、ベランダがゆったりしている。リビングルームは窓が大きく明るく、周囲の景色がよく見える。ベランダからは遠く海を望むことができる。窓の外には季節の花を植栽したプランターが置かれ、ボランティアの家族が手入れをしていた。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂兼リビングを他利用者様との談笑の場として提供している。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>基本的に入居の際、ご本人の使い慣れたものなどを使用して頂き、居室内はご自由に、ご本人、ご家族様の意見を取り入れた環境になっている。</p>	<p>居室は広く全て南東に向いており採光も良い。クローゼットとエアコン及び洗面台は備え付けで、カーテンは個人の好みで防災のものを使用している。照明器具やベッド、使い慣れた整理たんすを持ち込み、家族の写真や絵画などを飾って、自宅として生活している。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご利用者様個々の状況に合わせて、レクリエーション、アクティビティーを取り入れて、残存機能を活かせるケアに努めている。</p>		

# 目標達成計画

事業所名 アール・フォーラム伊予市  
 作成日 平成23年5月10日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間想定訓練 災害対策が 不十分でない	年2回の訓練の 会議で 防災の意識を 持つ	年2回の訓練の うち一回は夜間 想定とし、会議等 で災害対策の話し 合いを行う。	1年
2	13	職員の介護 対応意識	内・外の研修で 介護の質を上げる	内・外の研修に 参加し、介護を 学ぶ。	1年
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。